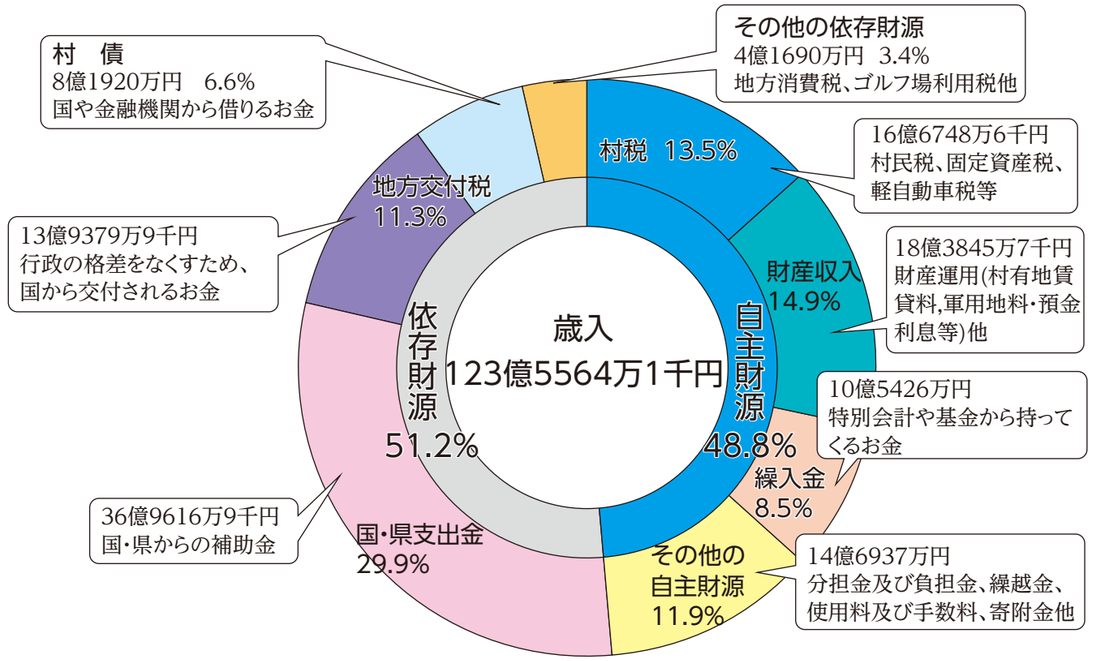
平成30年度 一般会計 過去最高額

歳入 123億5564万1千円 決算
歳出 118億7012万4千円 認定



歳入に関する質疑

質 村民税収入増の主な要因は

答 納税義務者増（約0.8％）と所得割の増（約0.4％）である。

質 自主財源比率低下の要因は

答 前年度と比較して額は増加しているが、整備事業等により、依存財源である国庫支出金・県支出金・村債の増加が主な要因。

質 固定資産税収入増について

答 一般新築家屋と大型家屋建設、それに伴う償却資産の増が主な要因

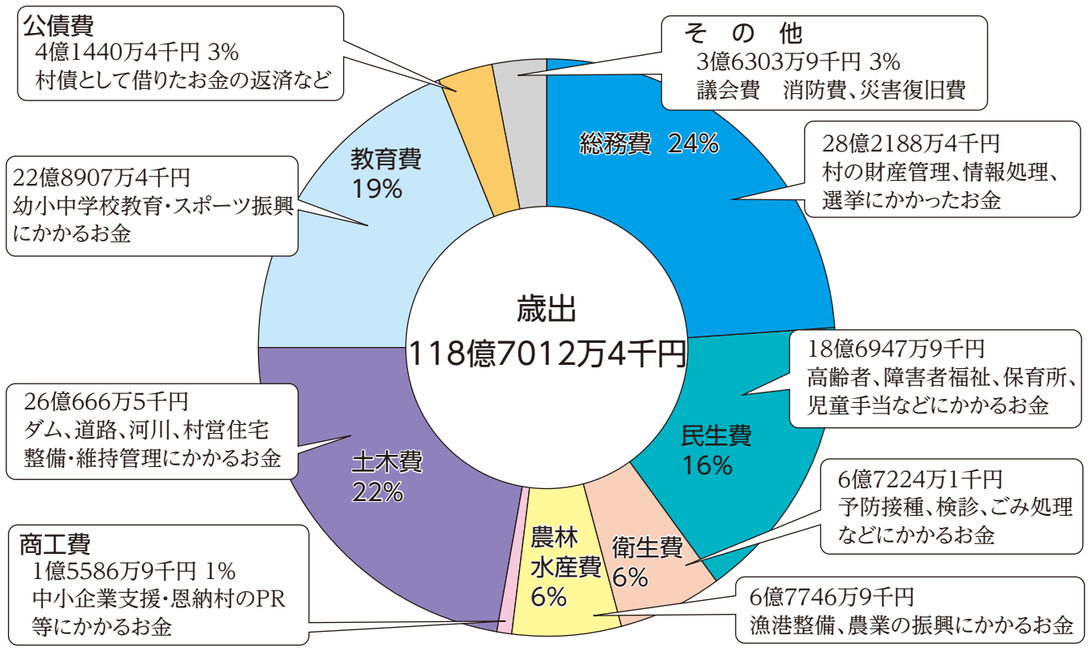
質 財産収入の収入未済額とその要因は

答 村有地賃貸料で、毎年決算上収入未済額となっているが、一部は不能欠損処理をする予定である。

特別会計	歳　入	歳　出
国民健康保険	16億7339万9千円	16億2488万7千円
後期高齢者医療	1億266万2千円	1億239万8千円
下水道事業	3億3837万1千円	3億3006万5千円

水道事業会計	収益的収入	収益的支出
水道事業	7億9548万1千円	6億6919万3千円
	資本的収入	資本的支出
	4800万円	2億4410万円

※不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てん



歳出に関する質疑

質 民生費・児童福祉費・保育所費の報酬、給料、賃金の不要額について

答 保育所職員募集等による対応費である。

委員から

額が大きいため補正減額対象であり、監査事務局ならびに出納室長がもっと指導すべきでは。

質 観光誘客・おもてなし推進事業の縮小について

答 同じ交付金を活用している万座毛周辺活性化施設整備事業に予算の配分が大きくなったため。

質 学校施設で支障をきたす設備が多々見受けられるが、修繕はどのように行っているか。

答 月に一回校長を主体に危険個所の点検を行って点検後優先順位を付けて、修繕していく。

委員から

予算の都合、優先順位とかではなく、各課間での予算協議を密にして、迅速に対応すべきでは。

答 今後、できる限り利用可能な予算の範囲で、可能な事業量をこなしたい。

財産に関する調書について

質 北西部四村連携施設(注1)の施設等備品があるが、調査報告によっては国と協議や折衝を行うか。

答 事故が起こった時には保障問題等があるので国の事業であり課題はあるが、移譲できるのであれば、進めたい。

注1：平成10年度より実施した北西部四村観光連携型養殖場整備事業において、北部四村（恩納村・伊江村・伊是名村・伊平屋村）の水産業の活性化を図る目的で整備された施設。

基金について

質 公共施設設備基金を繰り出すときに、何か基準はあるか。

答 明確な基準はないので、今後、維持修繕費に係る経費については財政調整基金で対応し、公共施設整備基金を活用する際の基準を設けたい。

記事担当　安里　周作